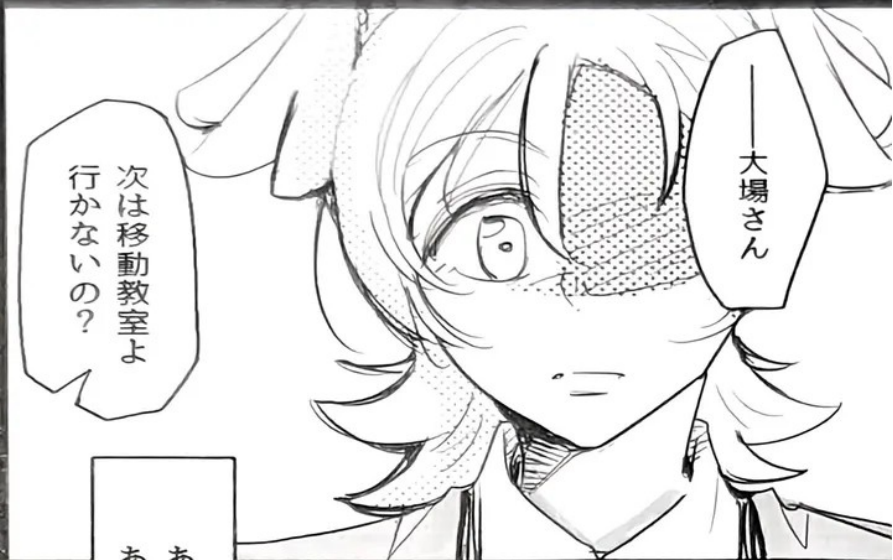
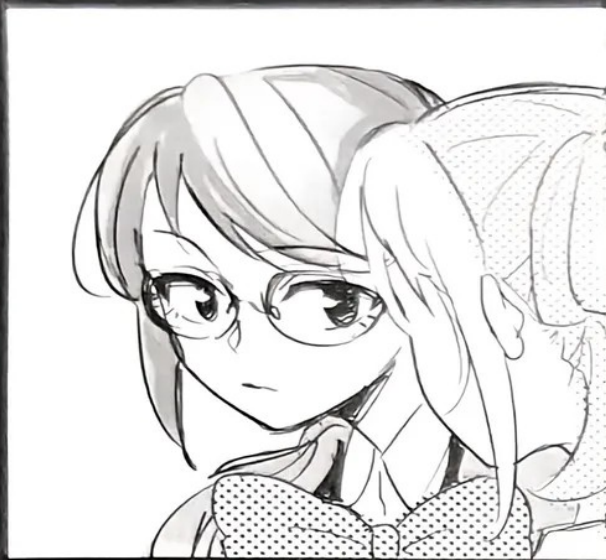


私はキミに  
アトをつけたい





次は移動教室よ  
行かないの？

大場さん



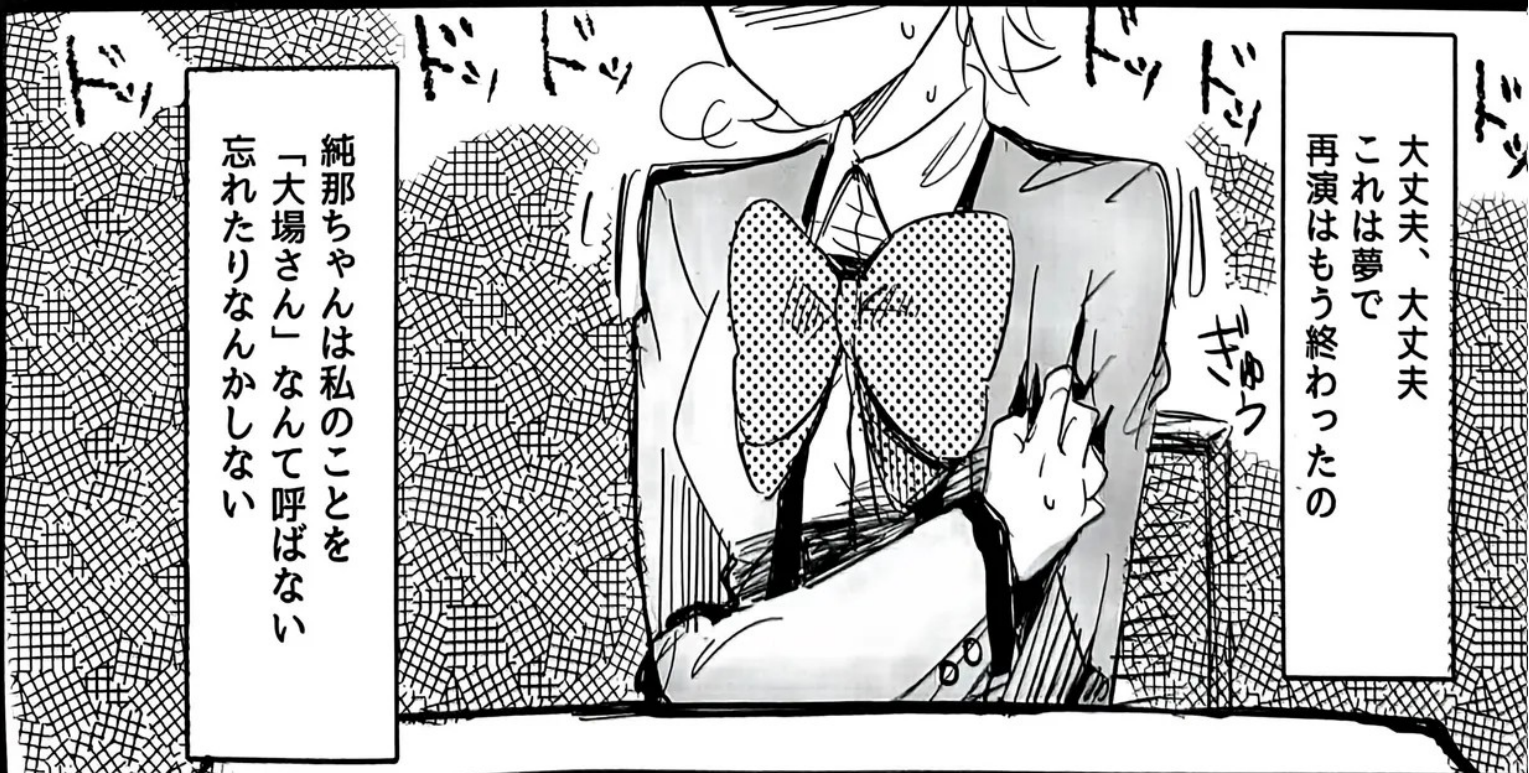
ヒクッ



ああ…これって、またあの夢だ

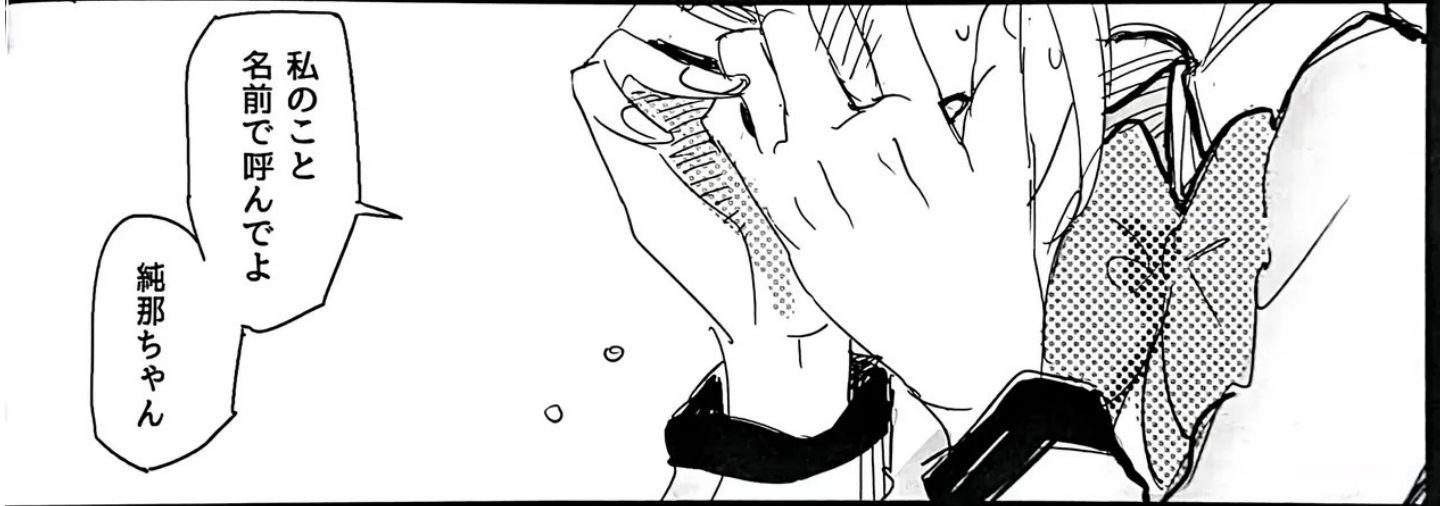
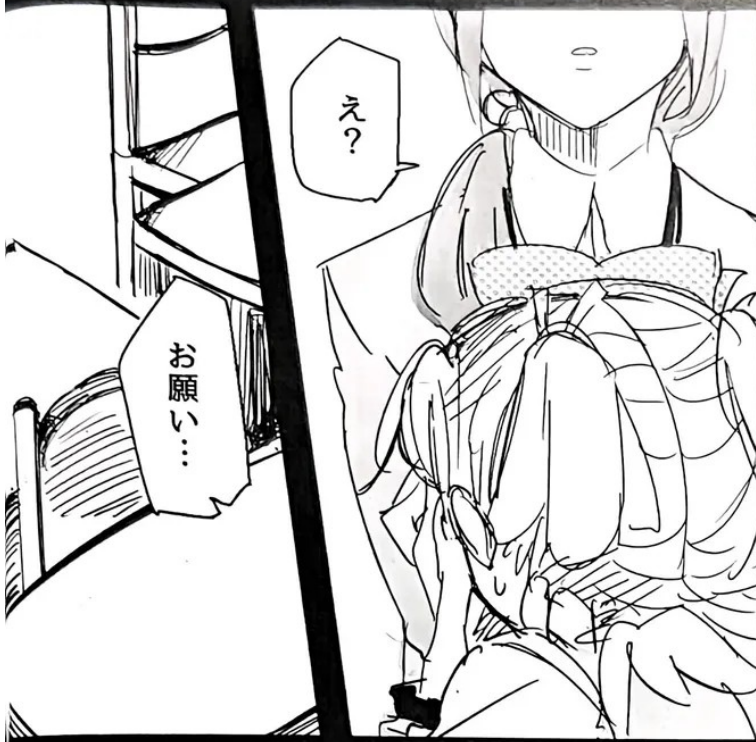
じゅ…

大場さん、顔色が  
良くないわ  
保健室に行く？



純那ちゃんは私のことを  
「大場さん」なんて呼ばない  
忘れたりなんかしない

大丈夫、大丈夫  
これは夢で  
再演はもう終わったの





純那ちや、

——なな

今度は忘れさせないでね  
私と貴女の——



また失うことが怖いの  
舞台と人は生きもの

ずっと同じであることは  
ありえないから



うん

うん

私を置いてどこにも行かないで  
私を見ていて  
私のことを忘れないで



「 私はキミにアトをつけたい 」

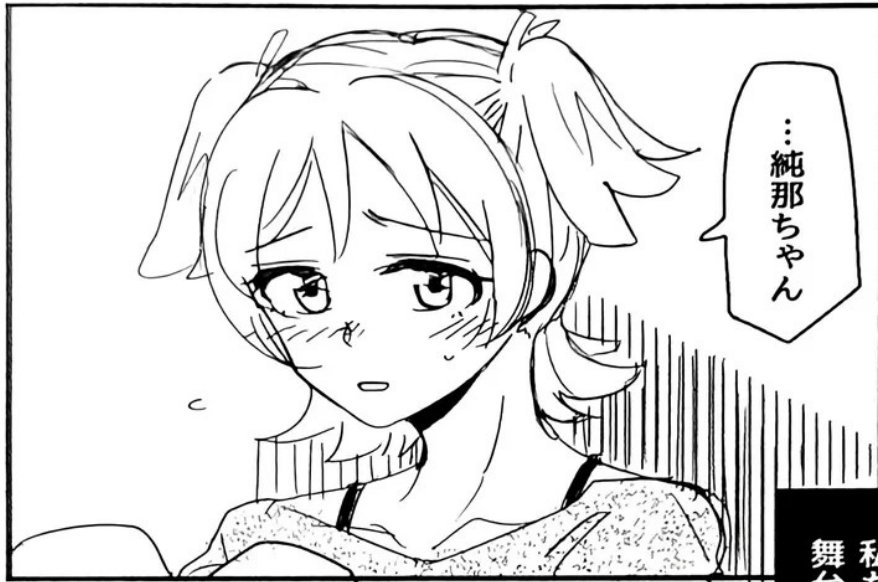
純那ちゃん、純那ちゃん

どうしたらいいのかな  
どうすれば、怖くなくなるかな

純那ちゃんはいつだって  
私の傍にいてくれるのに  
…どうして、こんなにも

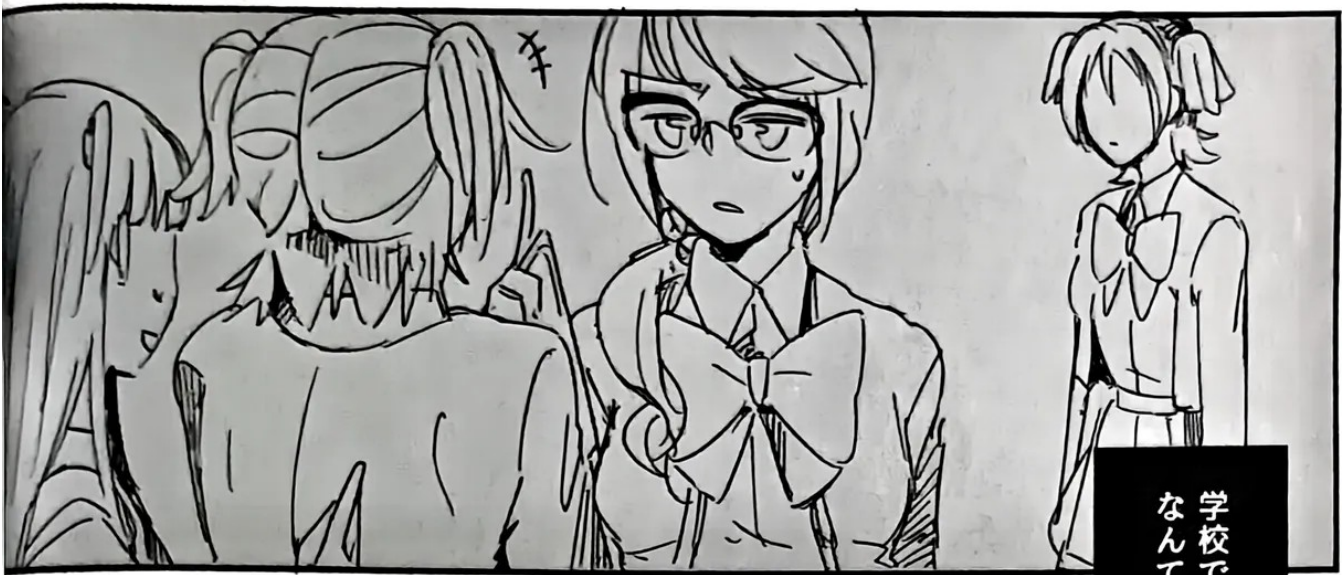
はっ

じっ

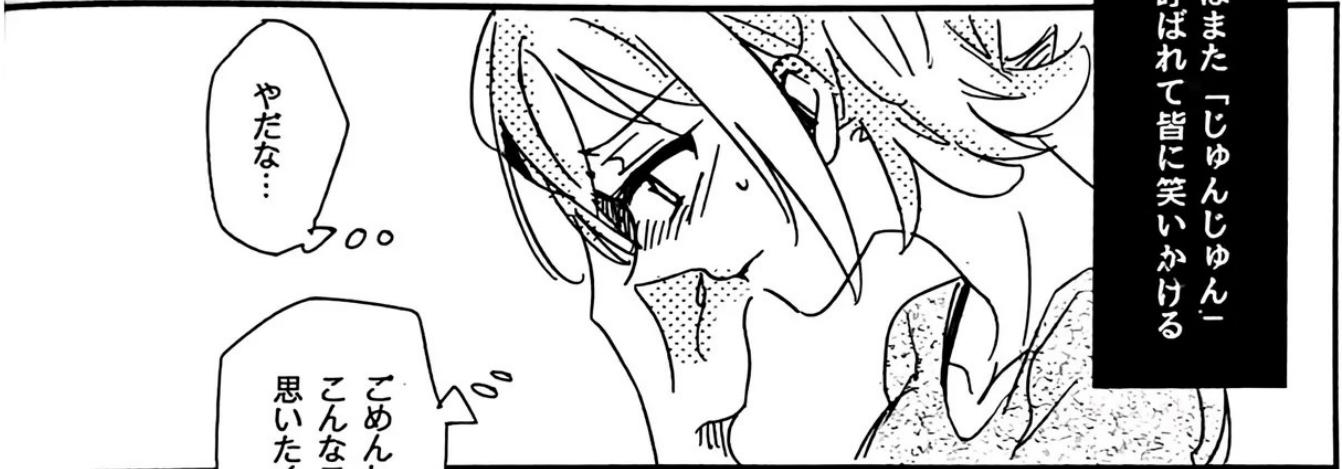


今日は日曜日、また明日から  
私たちは舞台少女として  
舞台上がる



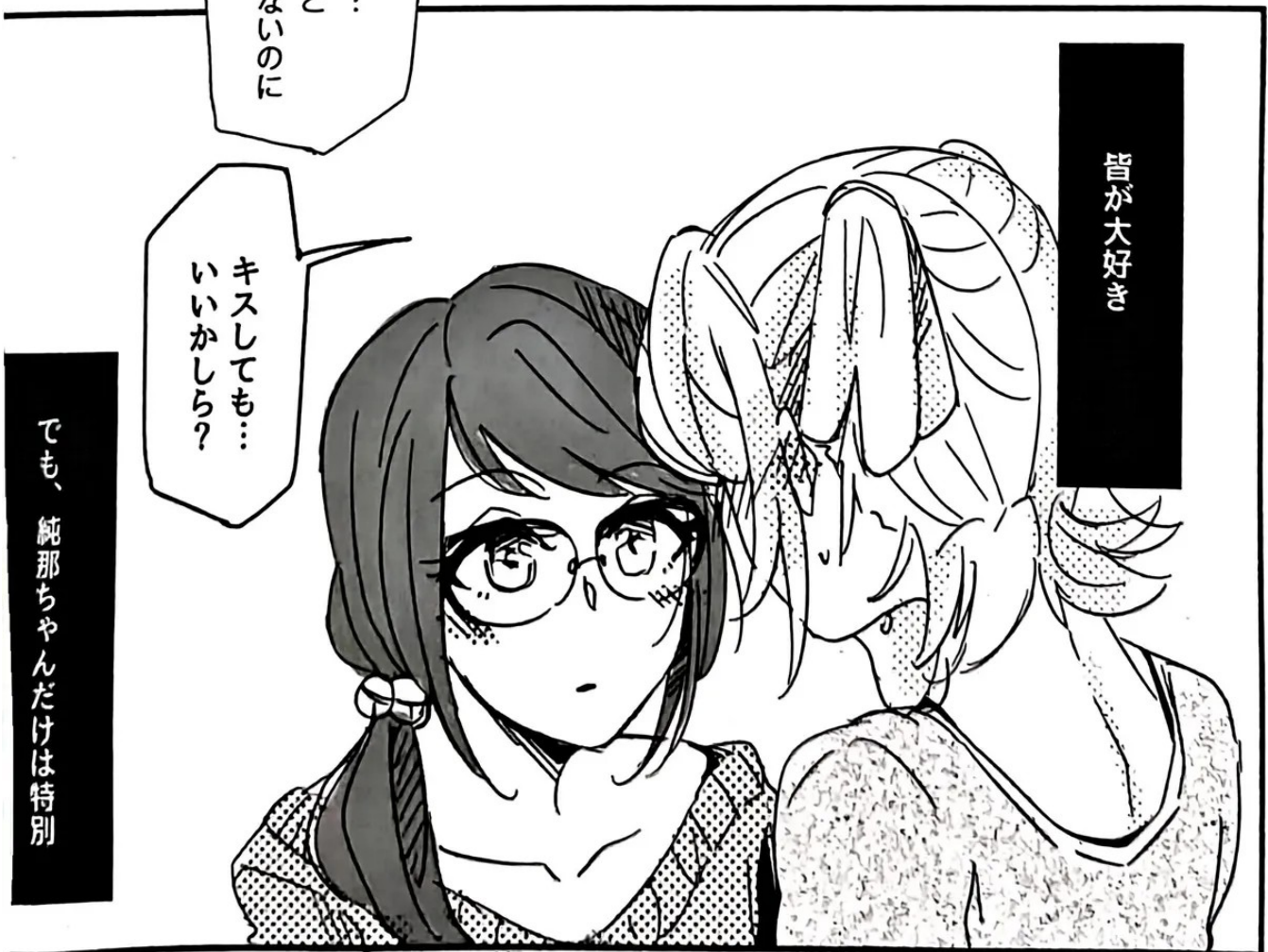


学校ではまた「じゅんじゅん」  
なんて呼ばれて皆に笑いかける



やだな…

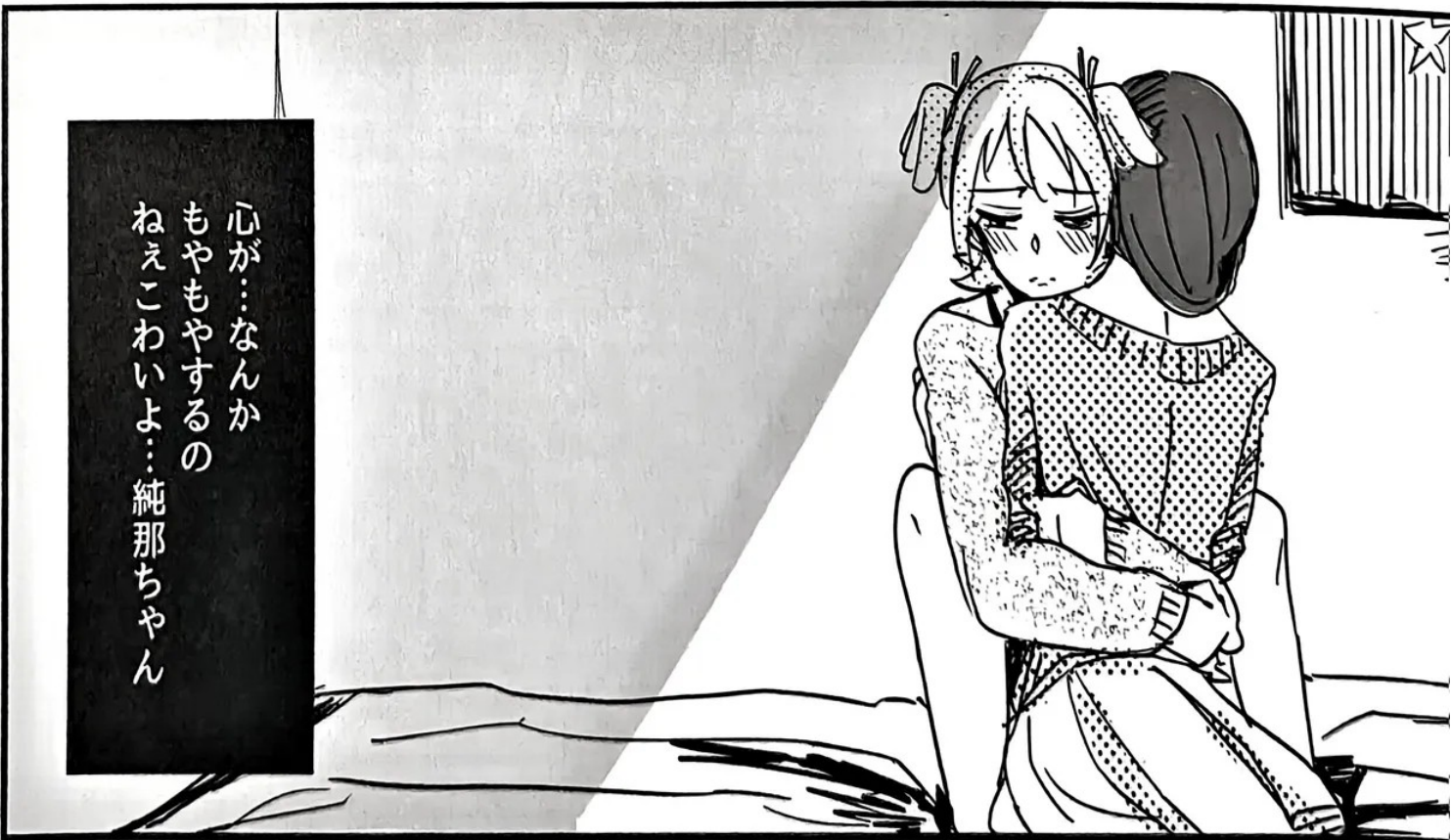
ごめんね…  
こんなこと  
思いたくないのに

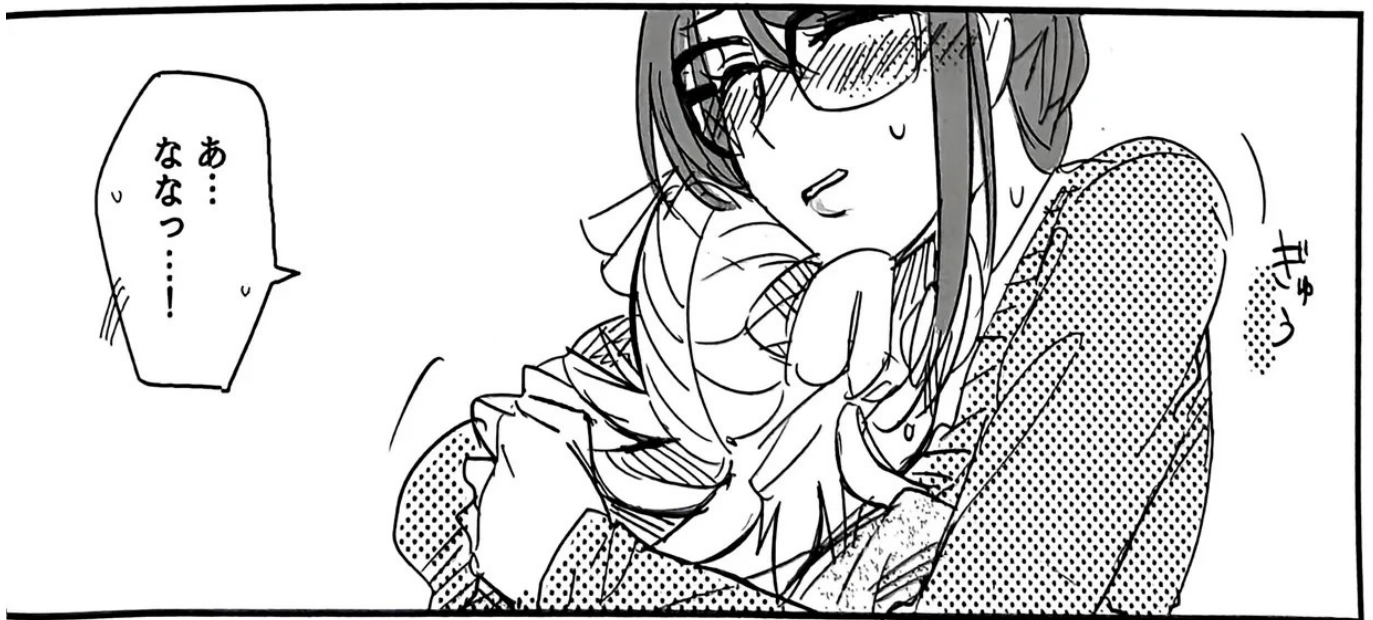


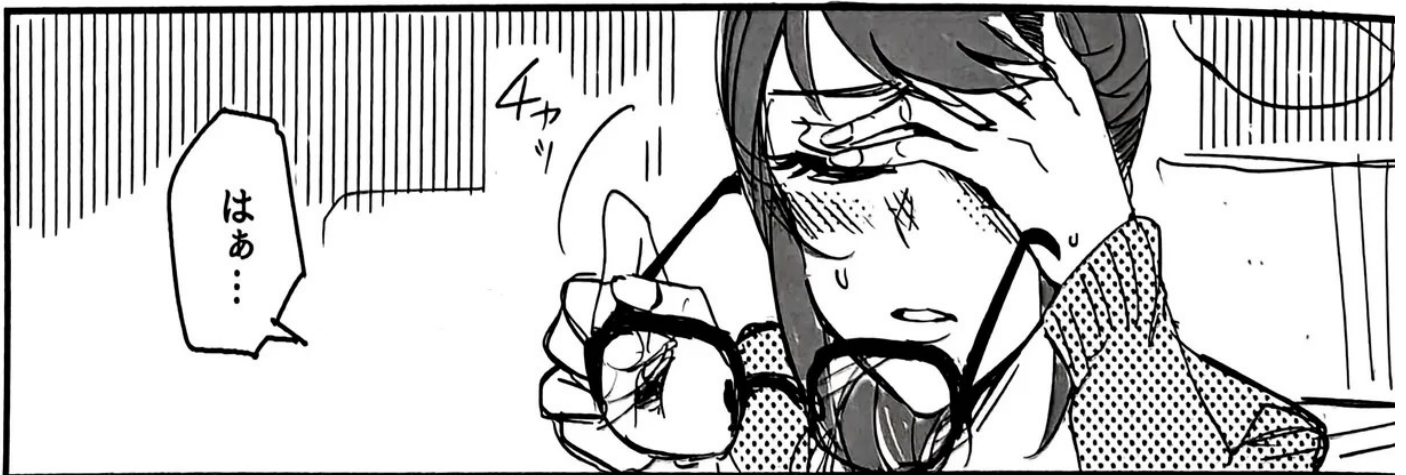
皆が大好き

キスしても…  
いいかしら？

でも、純那ちゃんだけは特別









づっ...

…捨てられた  
子犬、かしら

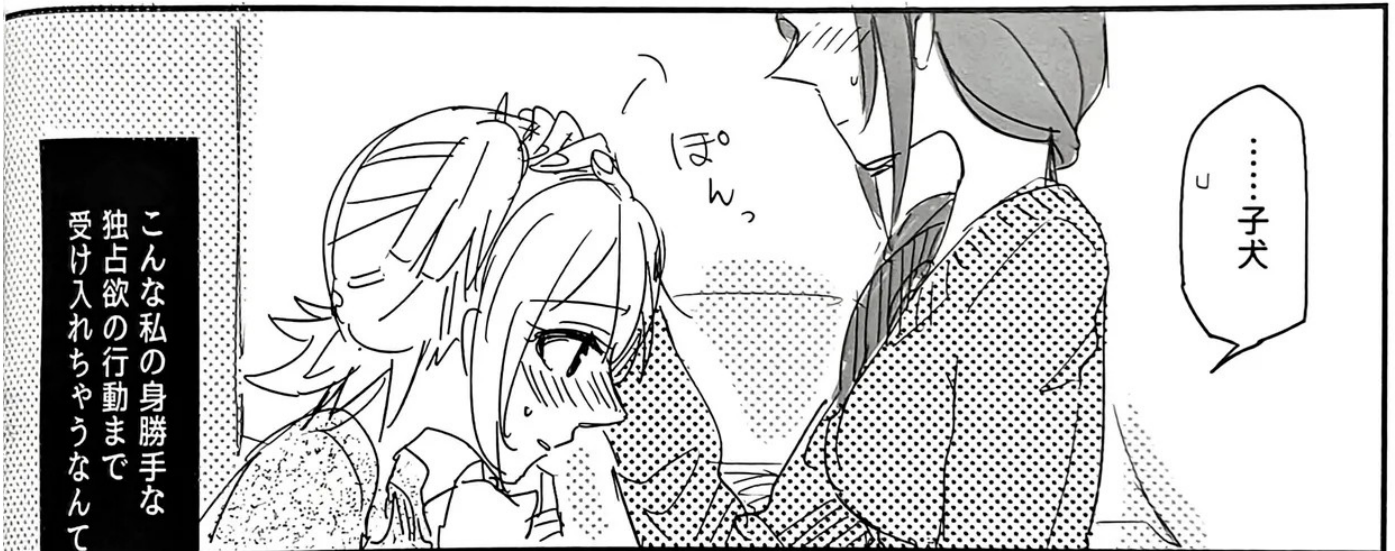


は  
そんな顔している  
子に怒れないわよ

ん、  
私、どんな  
顔してる？



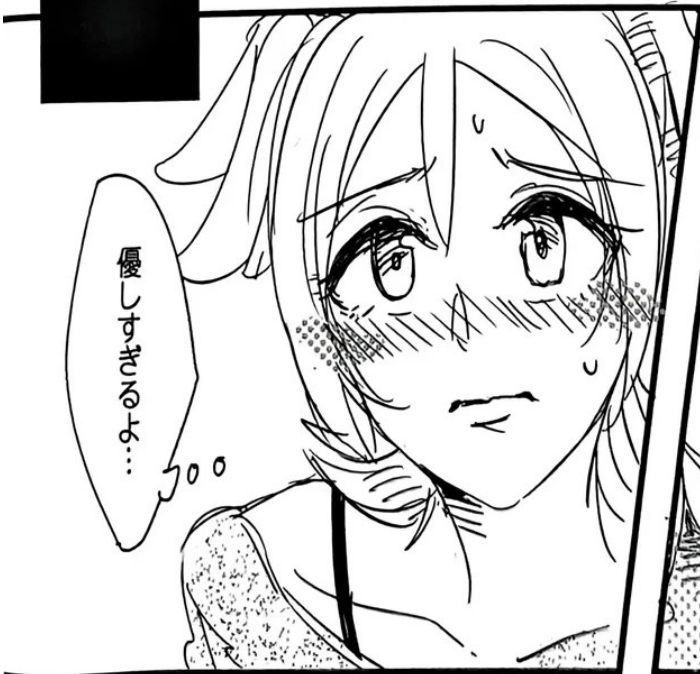
…怒らないの？



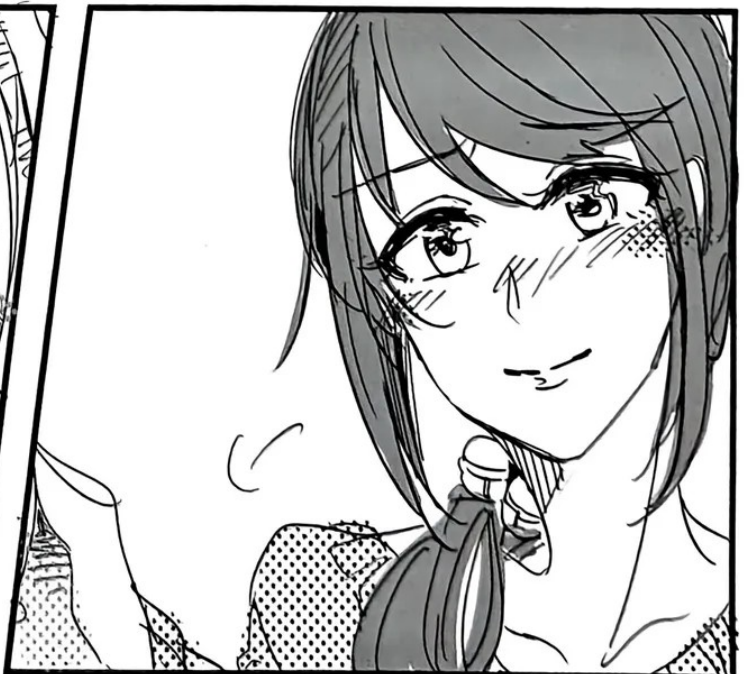
こんな私の身勝手な  
独占欲の行動まで  
受け入れちゃうなんて

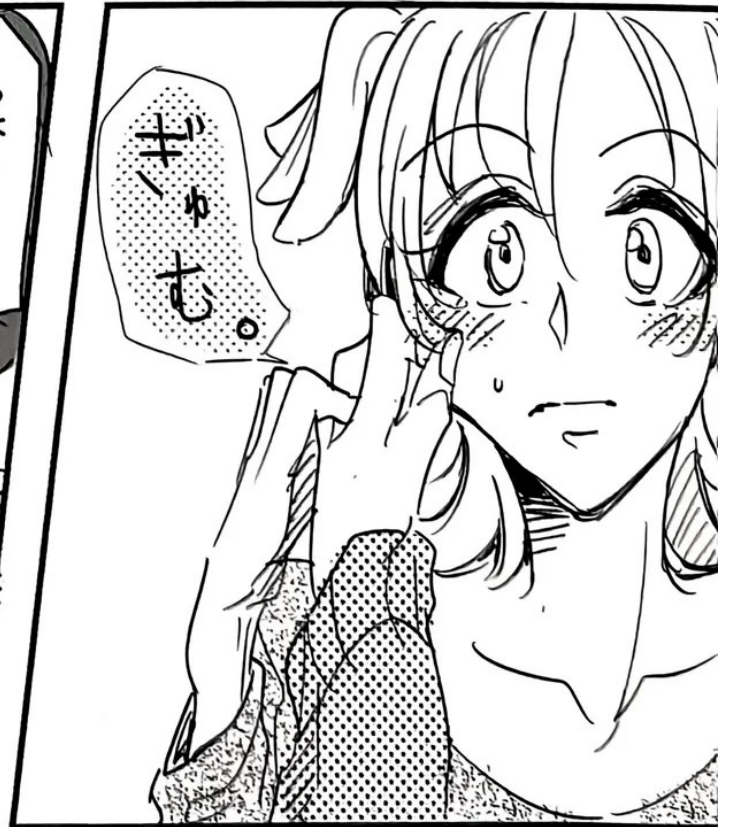
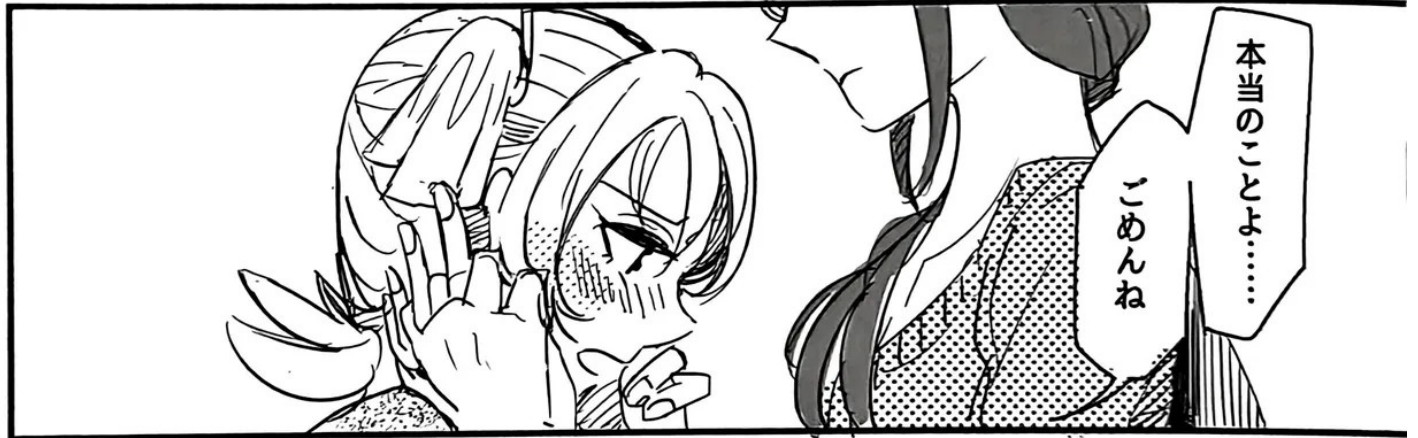
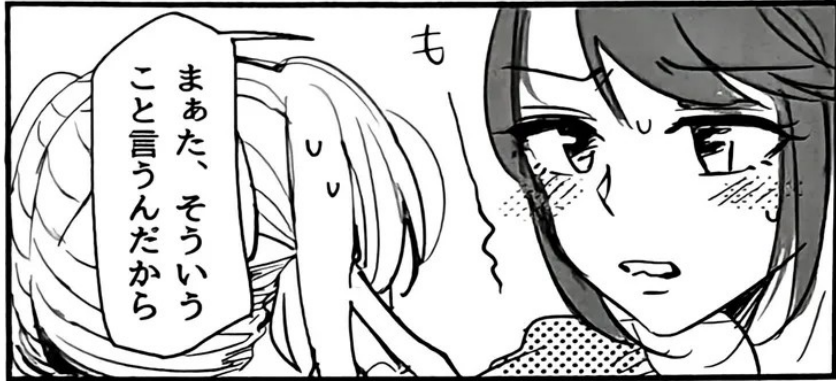
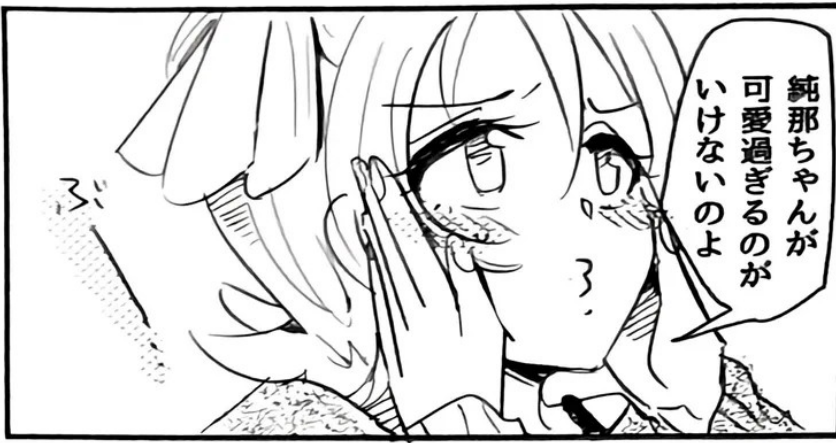
ほん、

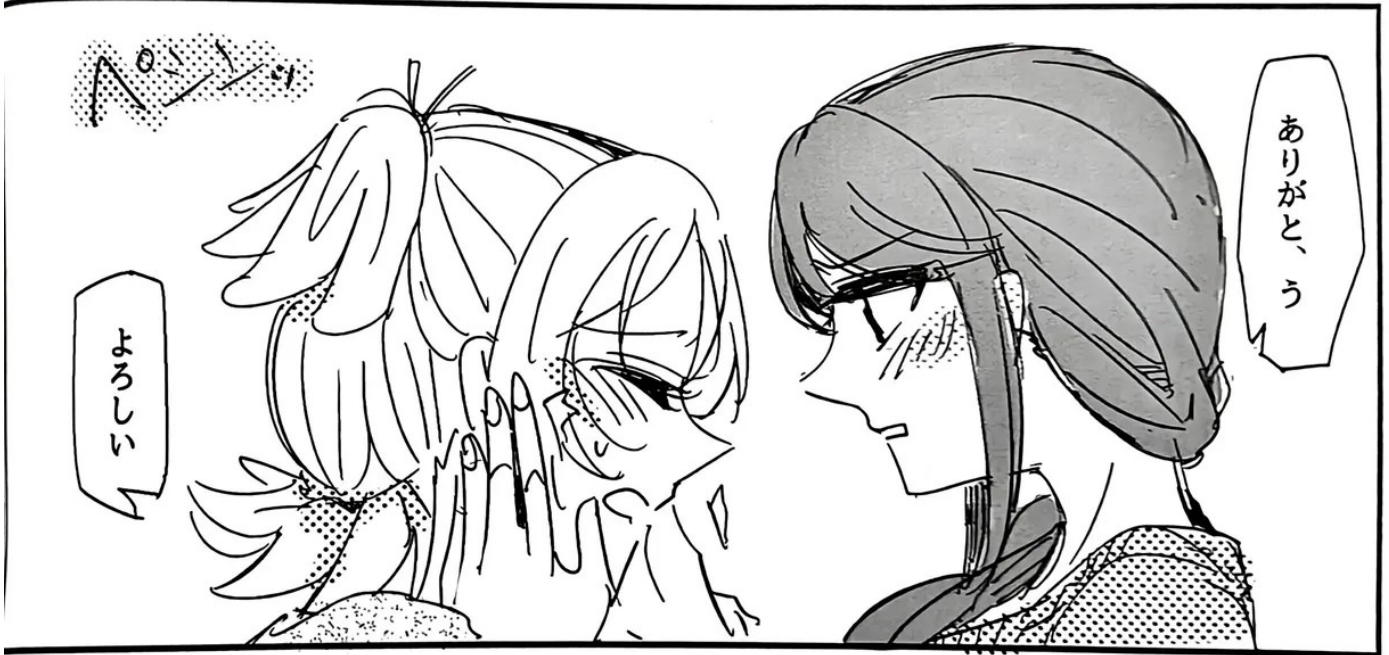
…子犬

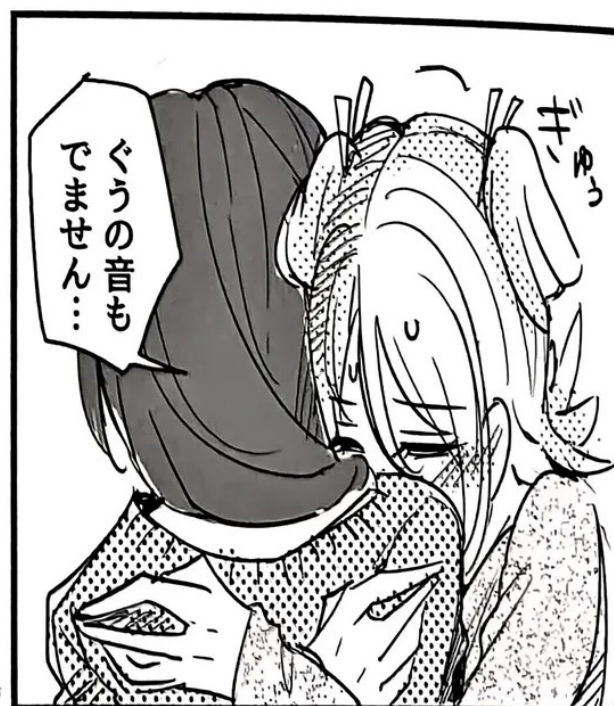
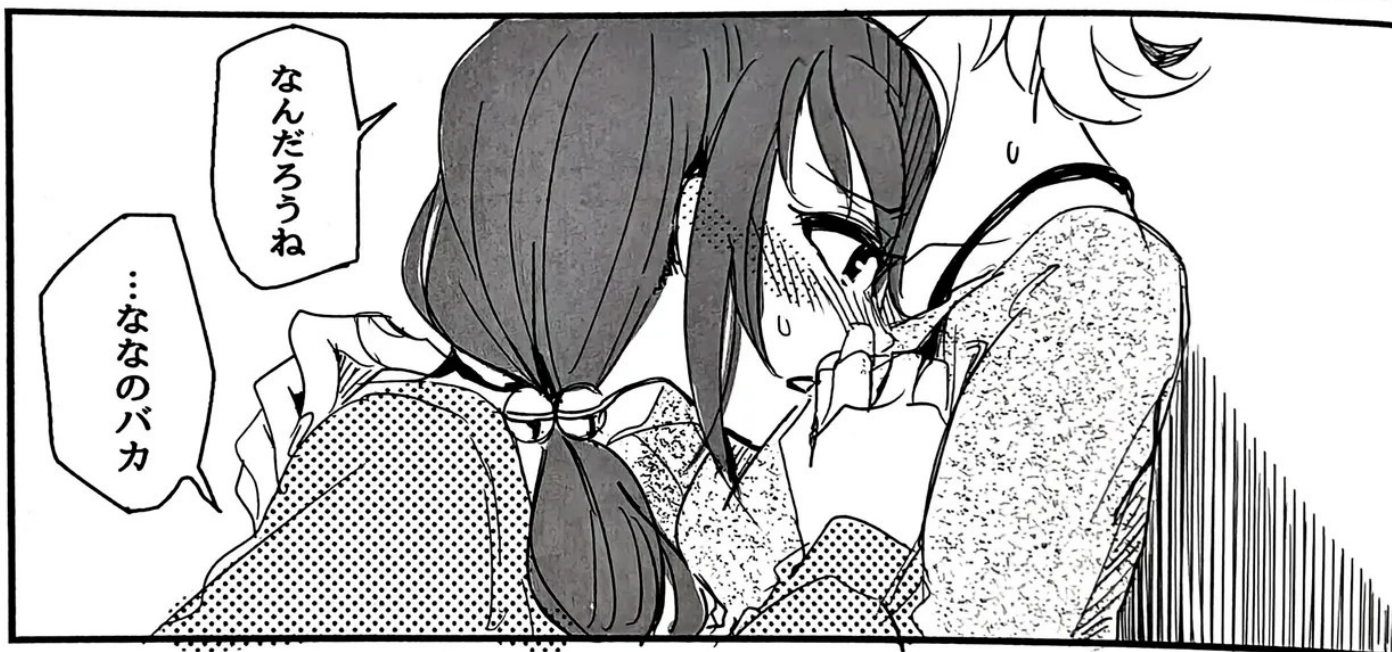
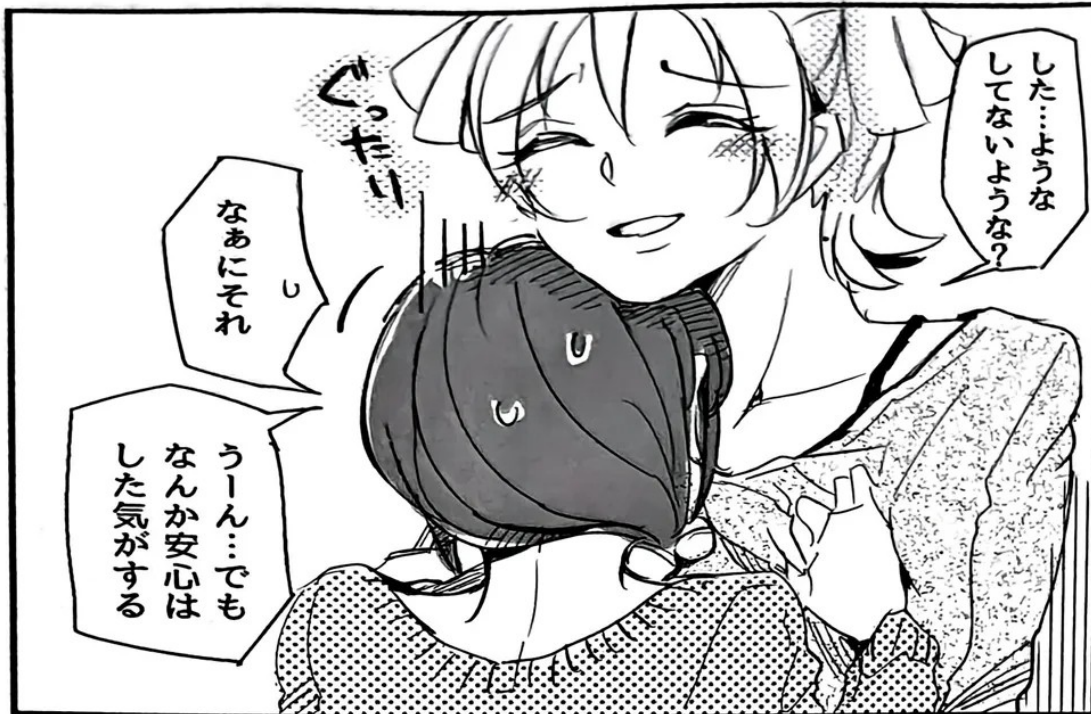


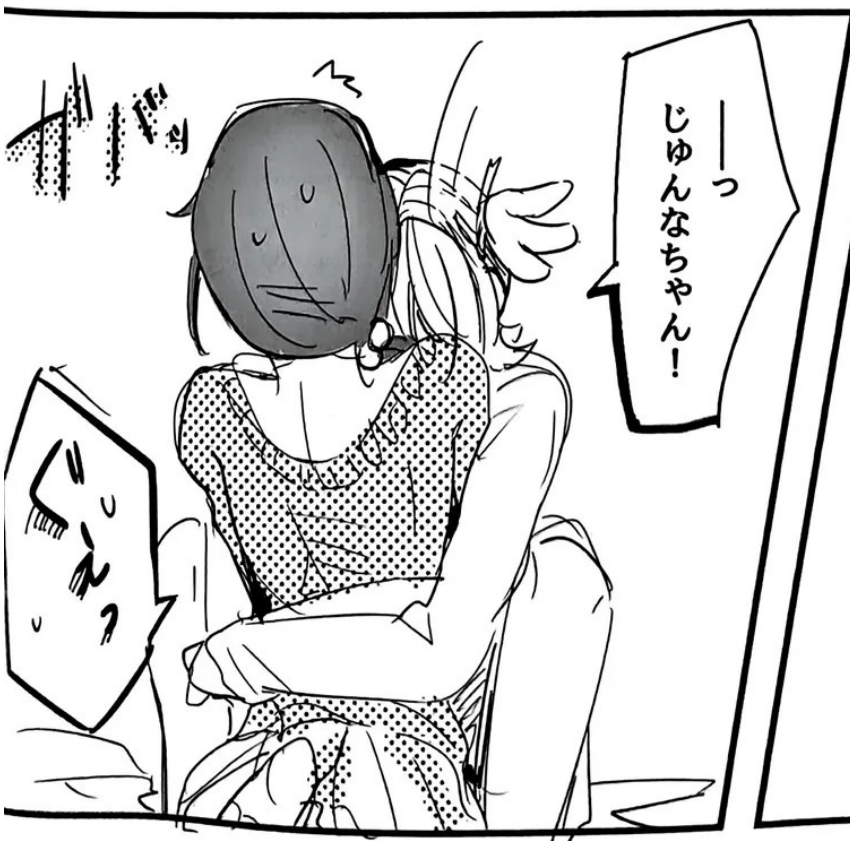
優しいキミのせい…











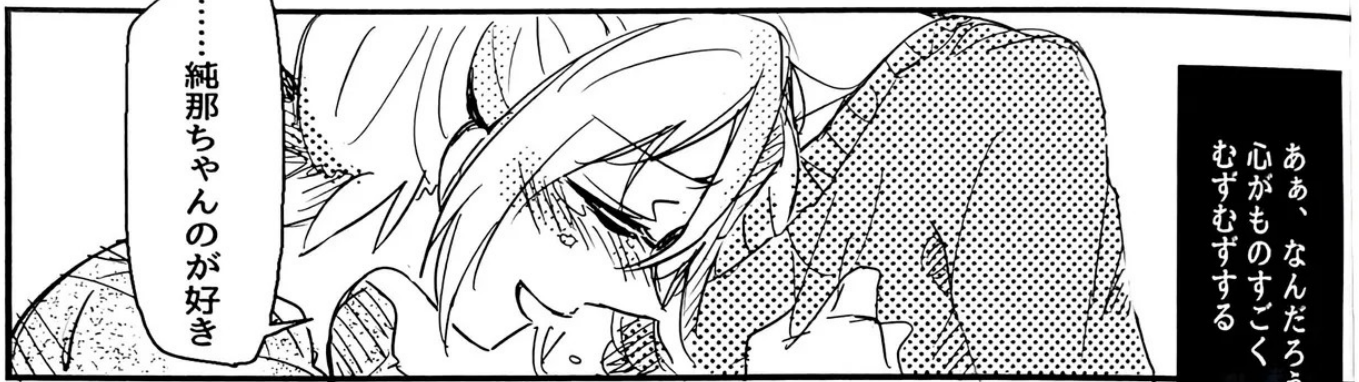


同列なのね...

カエルさんも  
純那ちゃんも大好き

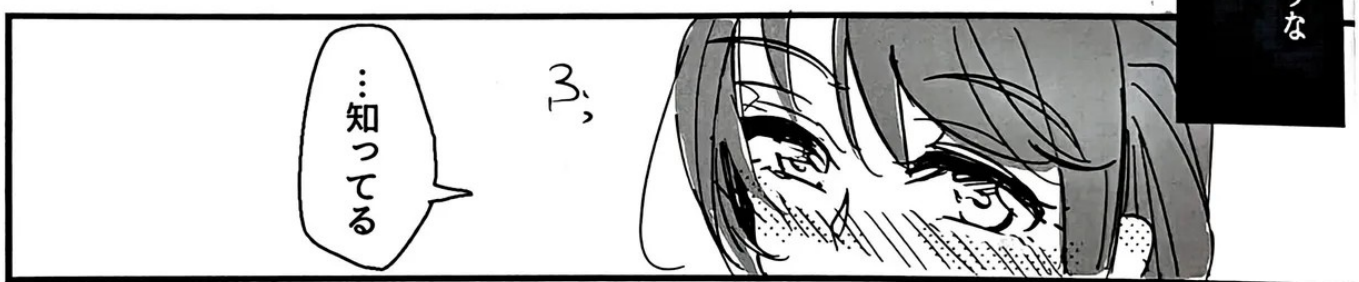
あのねえ

あは  
カエルさんみたい



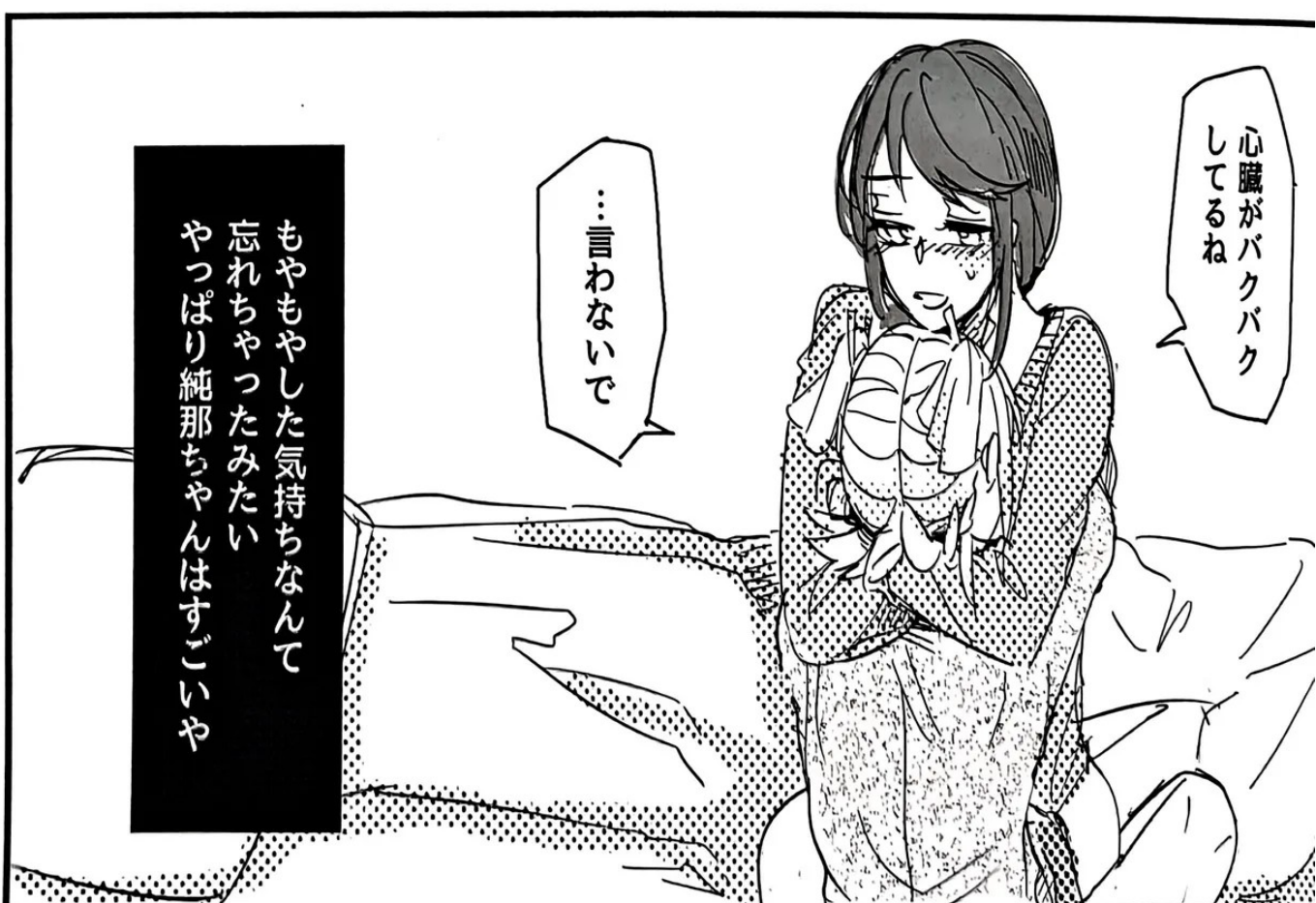
.....  
純那ちゃんのが好き

ああ、なんだろうな  
心がものすごく  
むずむずする



...知ってる

ふ、

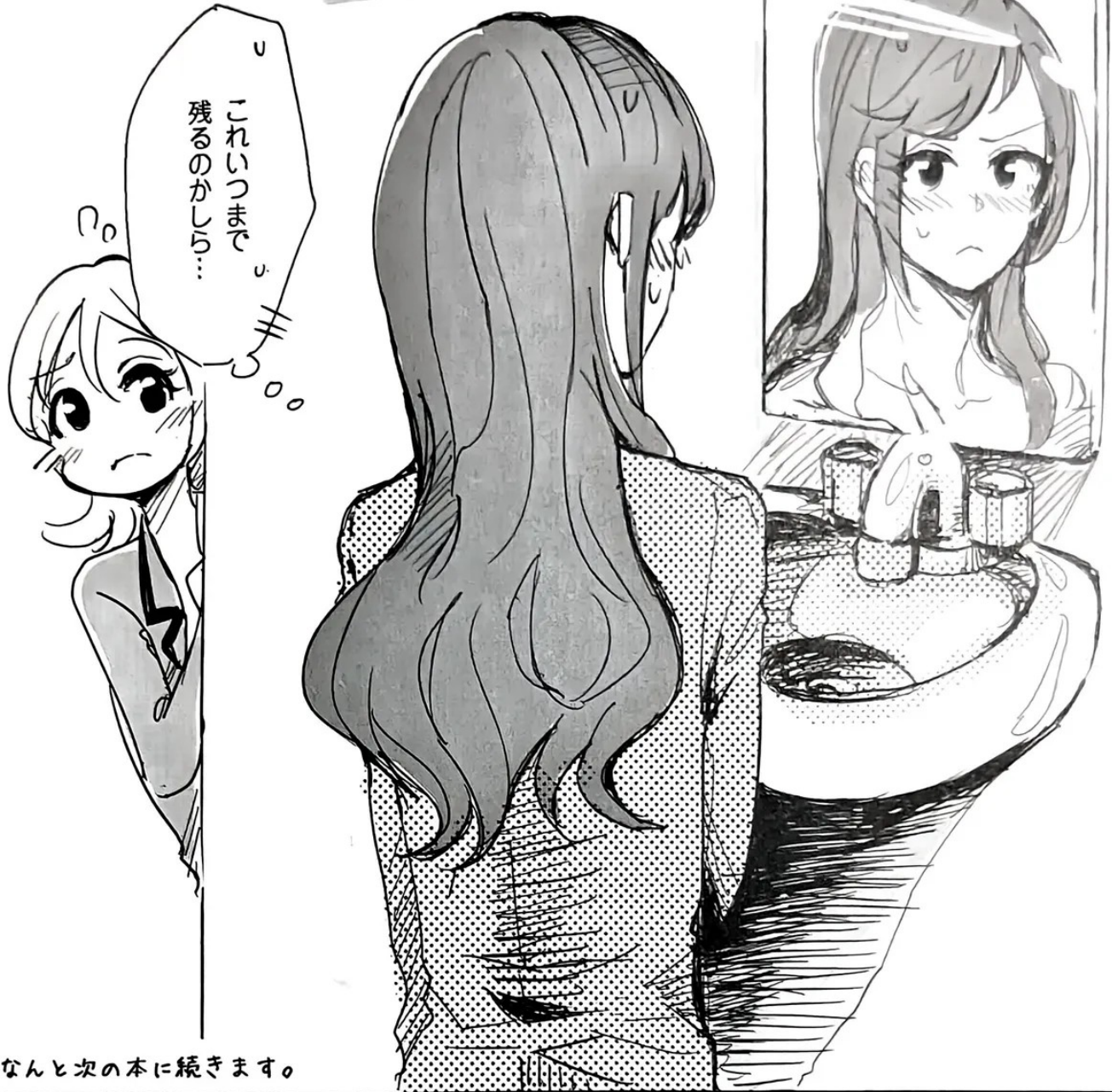


心臓がバクバク  
してるね

...言わないで

もやもやした気持ちなんて  
忘れちゃったみたい  
やっぱり純那ちゃんはすごいや

でも、石雀認はする。



なんと次の本に続きます。

『私はキミにアトをつけたい』

発行:シガーレス。

印刷:栄光 様

発行日:2018/12/29

・pixiv / 298168

・Twitter /saku\_pan\_02

・Mail /getlost1731@yahoo.co.jp

禁止:無断転載、無断アップロード、オークション等の転売

...the ...

...the ...

...the ...

...the ...

...the ...

...the ...

...the ...

...the ...

...the ...